

東京都生産性革新スクール

～モノづくりの“よい流れ”を
創出する人材を育成する～

募集
期間

平成 29 年

4月17日(月)～**5月31**日(水)



当スクールのねらい



グローバル化や少子高齢化・人口減少など、都内の中小企業を取り巻く経営環境はますます厳しくなっています。

このような状況下において、企業として成長していくためには、新たな付加価値を創出するとともに、業務プロセスを効率化し、生産性を高めることが不可欠です。

そのためには、常に「現場」を見つめ、「よい流れ」を創り出す人材を計画的に育成することが重要と考えます。

本スクールのねらいは常に前向きに生産性革新に取り組み、自立的に改善を進めることができる企業の中核人材を輩出し、魅力ある中小企業を増やすことにあります。



当スクールの概要と特徴

生産性を革新する中核的な人材には、企業現役の方と企業 OB の方がいると考えます。

- 中小企業の現場において、まさにその責を担おうとしている現役の方
- 大手のものづくり企業などで現場改善に取り組み、退職された OB の方

当スクールは「東京大学ものづくり経営研究センター」（センター長：藤本隆宏東京大学大学院教授）のバックアップのもと、「良い設計 良い流れ」を意識した、現場実習を含む体系的なプログラムを用意しています。

また、講義も東京大学ものづくりインストラクター養成スクール等を修了した、現場支援経験が豊富な講師陣が対応します。

そして卒業後、現役の方は自社で生産性革新に取り組み、一方で OB の方々は都内中小企業に訪問し、現場支援を行います。[※] この 2 つの流れで都内中小企業の実産性革新を目指します。



[※] OB 卒業生の企業派遣を確約するものではありません。



第2期の募集について

募集期間 平成29年4月17日(月)～5月31日(水)

場 所 座 学 等 公益財団法人 東京都中小企業振興公社 和泉町庁舎
〒101-0024 千代田区神田和泉町1-13 住友商事神田和泉町ビル 9F
現場実習 実習先の企業様

募集定員 12名

募集対象 次の①ないし②を満たし、生産管理や生産技術に関する経験があり、生産性向上の取り組みについて予備知識を有する方。

① 企業OB

- 大手、中堅製造業の工場などで現場経験が豊富である方。
(工場長など生産部門での責任者の経験のある方)
- スクール終了後、都内中小企業へ生産性革新インストラクターとして派遣・支援活動が可能な方。

② 企業現役

- 都内中小製造事業者の現場責任者、または幹部候補の方

受講料 企業現役 15万円
企業OB 10万円

その他 現場実習において安全靴や作業服が必要になる場合があります。また実習先企業の要望やルールを守った節度ある行動をお願いします。(秘密保持も含む)



第1期スクール利用企業の声

株式会社今野製作所 代表取締役 今野 浩好 氏



現場のリーダーとなる社員が受講しましたが、体系立った裏付けのある知識や手法に基づいてカイゼンをしていくことの大切さが学べたのではないかと思います。現場にも良い刺激があったと思います。

また、3か月の長丁場でしたので、同じ時間を過ごした良い仲間が出来たことは、受講した社員にとって大きな収穫だったと思います。まさに「モノづくりはヒトづくり」を体感できたのではないかと思います。

今後は、2人、3人とTPIスクールの共通言語で話ができる人を社内に増やしていきたいですね。そうすれば、改善活動を続ける良い社内風土が出来ていくと思うんです。

そのために、2期3期と言わず、TPIスクール自体もずっと継続して欲しいですね。

石原金属化工株式会社 代表取締役 石原 康裕 氏



まず、カリキュラムの構成が良かったと思います。

根底にある「良い設計・良い流れ」のコンセプト。全体の良い流れを創り出すための「※ TOC 理論」。その流れを見るツールとしての「※ VSM やモノと情報の流れ図」。

そして個々の課題点にQCやIE手法を活用し、科学的に対応していく、という、まさに現場実践のために体系化されたカリキュラムだなと思いました。

実習ではだいが苦しみましたが、グループの仲間と喧々諤々を繰り返しながらレポートをまとめていく作業は、とても苦しいのですが、同時に非常に楽しい時間でした。

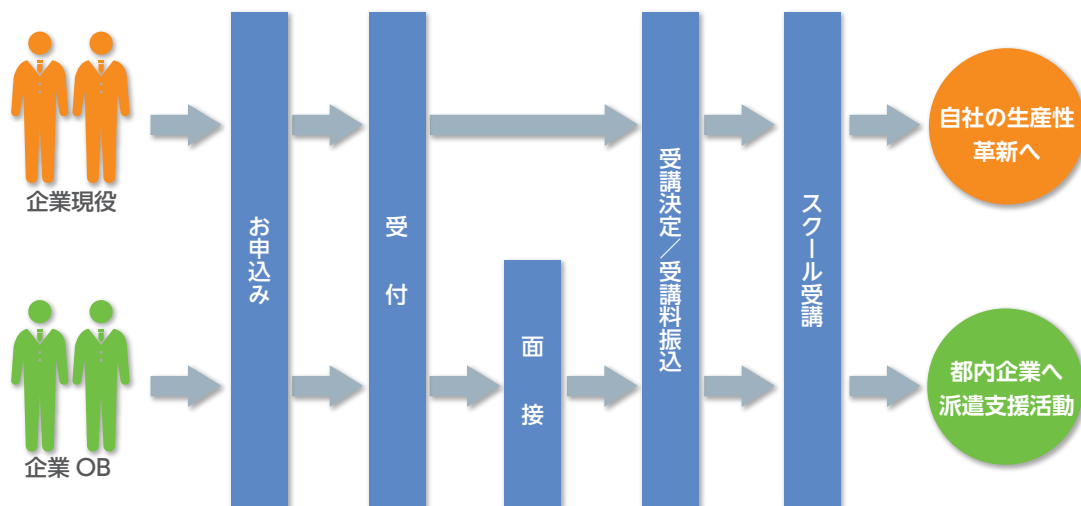
スクールを卒業して少し経ちますが、今でも自社の現場を実習と同じ視点、感覚で見えています。実際に現場の人間と話す機会が増えましたね。現場の人間は嫌がってるかもしれませんが、これもスクール受講の効用だと思っています。

※ VSM (Value-Stream-Map) : 特定の製品等について、原材料が加工されて顧客の手に渡るまでの全工程の経路とリードタイム各工程のサイクルタイム、そして各工程がどこからの指示で実施されるのかを示したもの。

※ TOC 理論 (Theory Of Constraints) : 工程全体を最適化する手法で、全体としてキャッシュフローを生み出すことを目的に、ボトルネックとなる工程に注目し、スループット (= 販売を通して生み出されたお金) を最大化するための考え方。



申込み・受講の流れ



1 お申込み

必要書類（申込書、現役の方は加えて会社案内もお願いしております）を5月31日（水）までに（公財）東京都中小企業振興公社経営戦略課事業革新係あてにお送りください。申込書は当公社のWebサイトからダウンロードできるほか、担当係でも配布しています。

2 お申込み受付／面接

先着順にお申し込みを受け付けます。お申込み多数の場合は抽選にて受講者を決定致します。また企業OBの方は面接を実施します。

3 受講決定／受講料振込

選考結果は速やかに申込者宛にお知らせいたします。

受講が決定された方は、開講日までに指定する口座へ受講料をお振込みください。

4 スクール受講について

受講期間は平成29年6月17日（土）から、9月30日（土）までの全19日間です。（別記カリキュラム参照）開講前に「生産マネジメント入門」（藤本隆宏著・日本経済新聞社）を配布致します。

5 修了の要件について

全体の出席率が8割に満たない場合、修了証の発行をしない場合があります。



平成29 年度 東京都生産性革新スクール カリキュラム (予定)

		9:30		10:00		10:30		11:00		11:30		12:00		12:30 / 13:30		14:00		14:30		15:00		15:30		16:00		17:00 17:15		18:00	
実施日		ねらい		午 前								午 後										放課後セミナー							
6月	17 日 (土)	概論		開講式		ものづくり基礎概念						競争力と企業パフォーマンス				コストと生産性		納期・工程		交流会									
	在庫管理			フレキシビリティ / QCD 指導手順						品質管理				5S		休憩		ヒトづくり											
7月	1 日 (土)	基礎		QC 七つ道具 (基礎知識と活用)																		休憩		改善のヒント					
	IE (基礎知識と活用)																		交流会										
	8 日 (土)			VA / VE																		現場改善の進め方 (基本)				休憩		発想とは	
	15 日 (土)	コミュニケーションとインストラクティングの基本																		強い現場とは									
	22 日 (土)	実践		ものづくり会計						全体最適による問題解決 (基本)						モノづくりのころ													
29 日 (土)	全体最適による問題解決 (事例によるワーク)																												
8月	5 日 (土)			全体最適による問題解決 (事例によるワーク)																		休憩							
	19 日 (土)	特別講義		設備管理と技能伝承 (実習を含め理解)																				交流会					
	26 日 (土)	実習対応		現場改善の進め方 (改善のステップ)																									
9月	1 日 (金)	現場実習		実習先企業見学と改善テーマの確認								今後の進め方・目標値の決定								自主学習									
	8 日 (金)			現場実習																									
	9 日 (土)			チームディスカッション																									
	15 日 (金)			現場実習																		交流会							
	16 日 (土)			チームディスカッション																		自主学習							
	22 日 (金)			現場実習																									
	23 日 (土)			チームディスカッション																									
	29 日 (金)			実習報告会 (現地)																									
	30 日 (土)			成果報告会準備								成果報告会								修了式		懇親会							

※放課後セミナーは希望者のみで実施します (卒業の要件にはカウントしません)

※本カリキュラムは暫定的なものです。予告なく内容を変更する場合があります。予めご了承ください。



講師紹介

校 長 竹中 秀夫

グンゼ (株) 出身。現場での生産管理・改善活動を経て、生産性向上、教育・人事と広範囲な業務に従事。東京大学ものづくりリインストラクター養成スクール 11 期修了。

副 校 長 平尾 秀夫

(株)フジクラ出身。情報通信部品の開発設計から製造及び生産管理を経て製造部門の改善指導と共に製造会社設立を経験。ものづくり改善ネットワーク主催の第 3 期ものづくりシニア塾修了。

講 師 堀井 求

キヤノン (株) 出身。ものづくりにおける「淀みのない流れづくり改善」をモットーに現場改善に従事。東京大学ものづくりリインストラクター養成スクール第 2 期修了。

講 師 井本 達美

東洋運搬 (株)、富士ゼロックス (株) において生産技術や治具・設備設計等に従事。東京大学ものづくりリインストラクター養成スクール第 2 期修了。

講 師 伊藤 雄三

米国系精密濾過フィルターメーカーにて 30 数年間、経営全般、工場運営に関与する。多くの企業の現場改善指導や経営アドバイスを実施。ものづくりシニア塾 1 期修了。

講 師 春日 宗夫

オリンパス (株) 入社後、およそ 30 年間にわたり開発設計から製造、品質管理までものづくり現場に従事。東京大学ものづくりリインストラクター養成スクール第 3 期修了。

講 師 柊 紫乃

山形大学工学部システム創成工学科准教授。博士 (経営情報科学)。専門はものづくり管理会計など。実際の企業現場での議論・分析から、理論の構築と検証を行う。

講 師 飛田 甲次郎

元オムロン株式会社執行役員常務。関西 IE 協会副会長、日本電機工業会大阪支部長などを歴任。全体最適のマネジメントに関する最新知識をわかりやすく説明することに定評がある。

講 師 竹野 俊夫

高度ポリテクセンター能力開発教授。陸上自衛隊予備自衛官 (技能・整備) 2 等陸曹。ウガンダ等で自動車整備を指導、また企業の現場で設備の保守メンテナンスや保全方法を幅広く支援。

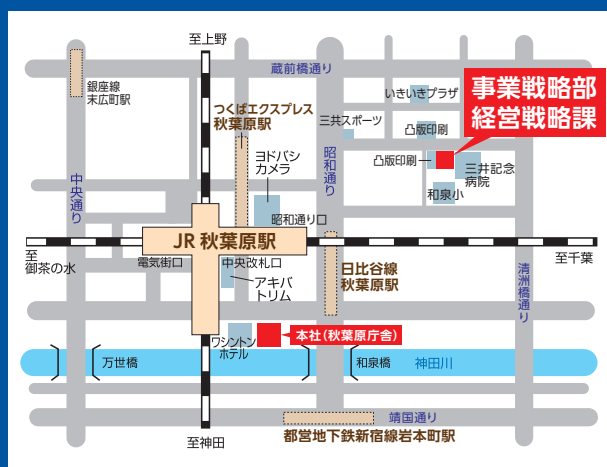
講 師 雨宮 利春

(一社) 人材開発支援協会代表理事。商社入社後、1989 年に経営コンサルタントとして独立、中小企業大学校講師や産業カウンセラーとしても活躍中。

講 師 国谷 晃雄

キヤノン (株) 取手工場生産技術部長他、ものづくり現場を歴任。東京大学ものづくりリインストラクター養成スクール第 1 期修了後、国内外において生産性革新活動を支援。

TPI Tokyo Productivity Innovation School



公益財団法人 東京都中小企業振興公社

事業戦略部 経営戦略課 事業革新係

〒101-0024 東京都千代田区神田和泉町 1-13 住友商事神田和泉町ビル 9 階

TEL: **03-5822-7232**

FAX: **03-5822-7233**

E-mail: sien@tokyo-kosha.or.jp

●ホームページ <http://www.tokyo-kosha.or.jp/>

●JR 線・つくばエクスプレス「秋葉原駅」徒歩 10 分

●東京メトロ日比谷線「秋葉原駅」徒歩 10 分